



徳島県の「林業職」について教えて！

徳島県の「林業職」ならではの魅力は何ですか？

なんと言っても豊かな自然に関わることができることです。県土の約75%を森林が占め、県内最高峰・剣山(標高1,955m)の亜寒帯林から海岸部の照葉樹林まで多様な植生があり、中でもスギ人工林面積の割合は全国1位を誇ります。こうした大自然の中で、林道整備や治山事業、地球温暖化防止にも繋がる森林づくりのほか、デジタル技術を活用した効率的な森林管理など、様々な仕事に携われます。また、木育にも力を入れており、県営では全国初となる「徳島木のおもちゃ美術館」を通じて、森林の大切さ、木材・木製品の魅力を広くアピールする仕事にも取り組むことができます。

人事異動について教えてください。

林業振興施策等の企画立案と、現場での普及指導、試験研究等の分野を概ね2、3年サイクルで異動します。なお、人事異動については、必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、異動先の希望を伝える機会を設けています。

給与について教えてください。

初任給は、月額225,600円(大学卒)です。職務内容によっては、給料月額の6%の額の「農林漁業普及指導手当」が毎月支給される場合があります。

研修体制や資格取得支援、研究発表等の取組はありますか？

農林水産省や林野庁が主催する専門的な技術研修や、県独自の森林・林業技術研修に参加することができます。また、研究所においては、年に1回研究発表大会が設けられています。さらに、林業職全体で「林務職員若手研修」を実施しています。

もっと「林業職」について知りたい！

令和7年度から採用試験の内容を変更しています。詳細はHPよりご確認ください！

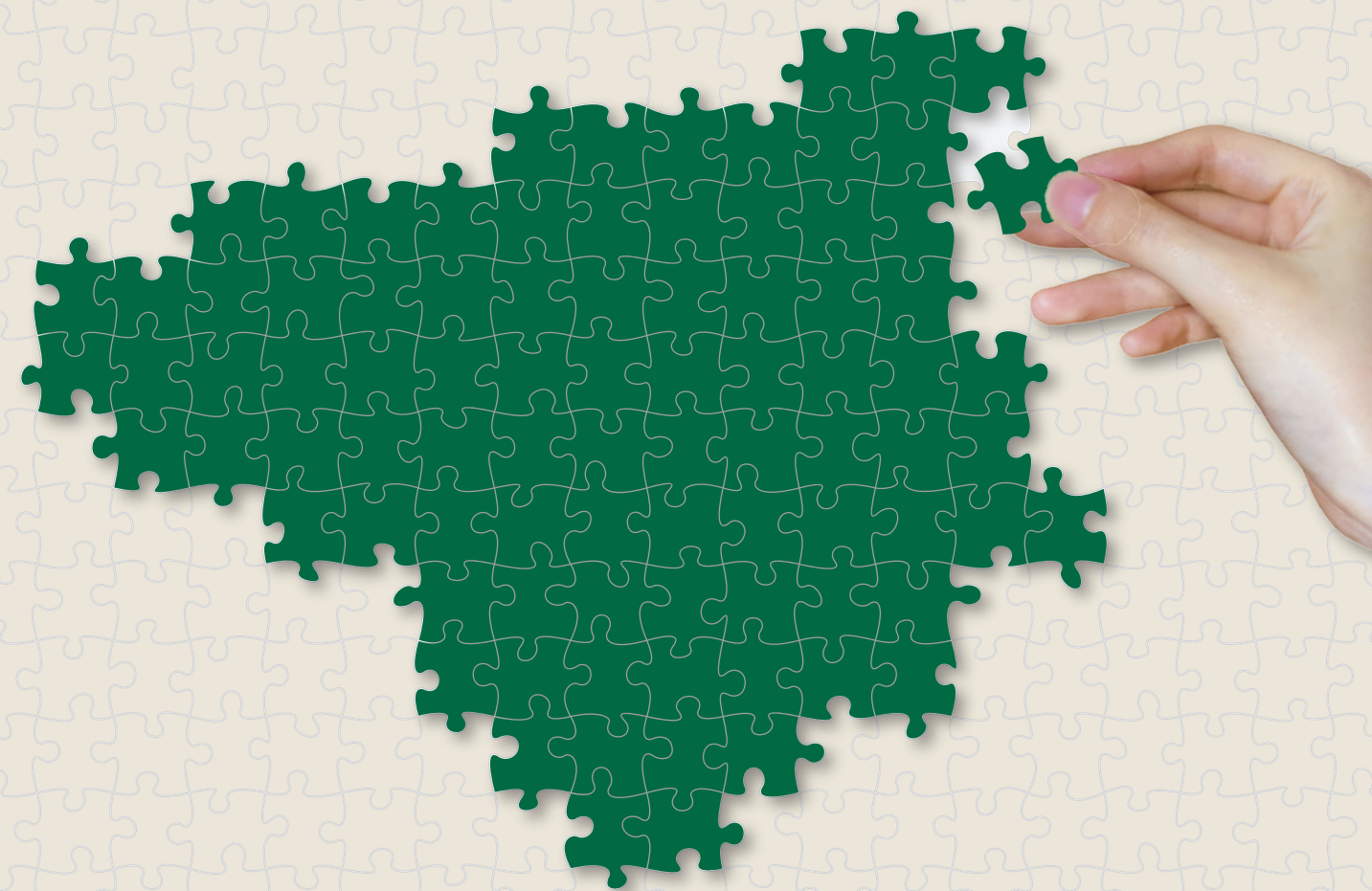


TOKUSHIMA

職員採用案内



林業職



林業職の業務に関する問合せ

徳島県農林水産部林業振興課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁6階
TEL.088-621-2447 FAX.088-621-2861
✉ ringyoushinkouka@pref.tokushima.lg.jp

採用に関する情報・問合せ

徳島県職員採用ホームページ
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/>



徳島県企画総務部人事課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825
✉ jinjika@pref.tokushima.lg.jp

SNSでも情報発信中！



X (旧Twitter)
徳島県職員採用



Facebook
徳島県職員採用



LINE
徳島県職員採用



Instagram
徳島県職員採用



※ 掲載内容は、令和6年1月現在のものです。

▼ 徳島森林づくりリーダー養成講座

スマート林業課〔現：林業振興課〕

森林・林業を核とした「地方創生の実現」を目指して

スマート林業課では、IoTやAIといった最先端技術を駆使し、低コスト且つ効率的な森林施業システムの構築を図り、林業の成長産業化を進め、森林・林業を核とした「地方創生の実現」を目指しています。

また、企業と協働での森づくり活動の実施や、県立で唯一の「木のおもちゃ美術館」を開館するなど、県民の皆様身近なところでも森林・林業に関心を持ち、関与して頂けるような取組も行っています。県土の約4分の3を占める豊かな森林を「県民共通の財産」として次世代に継承するため、多様な側面から課題に向き合い、日々業務に励んでいます。女性職員も多く在籍しており、性別に関わらず活躍することができる職場です。



松本 萌 / Matsumoto Moe

スマート林業課 主事
令和4年度入庁

〔所属歴〕

●令和4年度：スマート林業課

INTERVIEW 01

森林・林業における学びや楽しみを共有できたときにやりがいを感じる

現在は、森林環境教育のための施設である「県立神山森林公園」や「県立高丸山千年の森」、「剣山自然休養林」などの管理や、団体・企業等との協働の森づくり活動の普及・推進を主な業務としています。事務作業だけではなく、現場に出て施設管理者と協議を行ったり、講座やイベントを開催するなど、外での活動も多く、一般の方から林業従事者、森林ボランティア団体まで様々な方との関わりがあります。

森林分野で長く携わってきた方々から学ぶことは多く、自身も勉強になりますが、県民の方と森林・林業における学びや楽しみを共有できたときにはやりがいを感じます。



小笠原 光生 / Ogasawara Mitsuo

スマート林業課 主査兼係長
平成5年度入庁

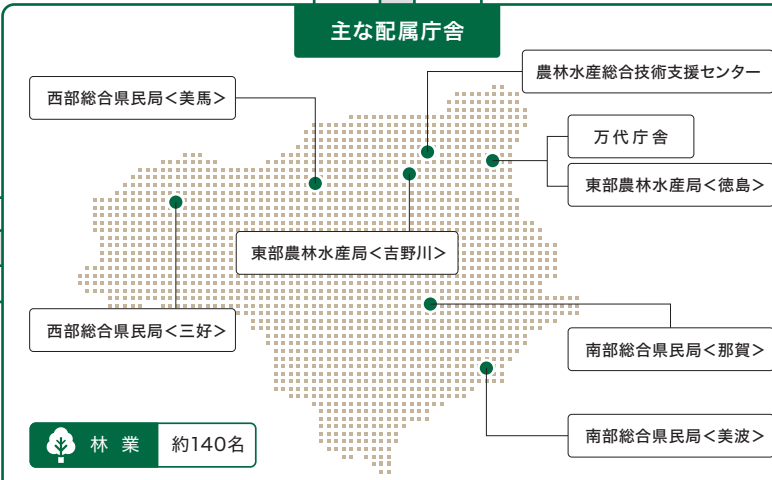
〔主な所属歴〕
●平成5年度：協同農林事務所
●平成20年度：農林水産政策課
●平成22年度：林業飛躍局林業振興課
●平成30年度：林業戦略課
●令和元年度：徳島森林づくり推進機構派遣
●令和3年度：スマート林業課

INTERVIEW 02

国内外を問わず様々な方と関わり知識や視野を広げることができる

「木材需要・木育担当」では、県内で生産される木材の安定的な利用を促進するため、需要拡大を図るソフト事業と加工流通体制の整備を支援するハード事業を行っています。構成員のうち2/3が女性職員で、技術職ですが男女問わず働きやすい環境です。私が担当するハード事業では、主に県民局等と連携を図りながら、中小製材工場への機械導入を進めています。大規模事業においては、本庁舎直轄で予算調整から補助事業全般の業務を担っています。

林業職の業務は、内容が多岐にわたり、関係者が県外・海外にまで及ぶため、様々な方と面識を得て、幅広い知識や視野を持つことが出来ます。



森林を主なフィールドとしてSDGsや地球温暖化の防止に貢献

スマート林業課は、県土の約4分の3を占める森林を主なフィールドとして、成熟が進むスギやヒノキを対象に、伐って、使って、植えて、育てる「森林資源の循環利用」体制の構築を地域の林業・木材加工業等関係者と共に進め、SDGsや地球温暖化の防止に貢献しています。

当課は、計画的な森林の管理やシイタケの生産等を支援する「森林企画担当」、多様な主体による森林整備を進める「公有林化担当」、山の仕事の支援や担い手対策を進める「造林・担い手担当」、森林から生産される木材の利用を進める「木材需要・木育担当」の4つの担当で構成されています。林業に関する様々な業務を通じて、徳島の森林を次世代につなげるという役割を担っています。



▲ とくしま木づかいフェア2023

スマート林業課〔現：林業振興課〕

※ 掲載内容は、令和6年1月現在のものです。

▼ 相談対応



INTERVIEW 03

時間をかけて努力した問題が無事に解決できた時にやりがいを感じる

保安林内での伐採や作業許可などの申請については、その業務を行う場所を管轄する県民局等に提出する必要があります。私は、本庁舎に所属しているため、直接許認可業務を行う場面はありませんが、許認可を実施する上で判断に苦慮する場面や、許認可に伴う諸問題について、県民局等の担当者から相談を受けています。

日々の業務では、問い合わせに回答したり、担当者と一緒に対応することもありますが、私だけの判断ではとても解決できない問題も度々起ります。その時には、上司とも相談しながら時間をかけて解決に向け努力します。無事に解決できた時はやりがいを感じます。

※ 掲載内容は、令和6年1月現在のものです。

森林整備課〔現：森林土木・保全課〕

保安林の適性維持により豊かな水資源を次世代へ繋ぐ

森林整備課は、森林整備（治山・林道）と林地保全の担当に分かれています。林地保全はさらに林地開発業務と保安林業務に分かれており、私は後者を担当しています。保安林とは、水源のかん養、災害の防備などで特に重要な役割を果たす山林として農林水産大臣や都道府県知事に指定されたものを指します。

保安林に指定されると、恩典と制限を受けることになります。税制面での優遇措置を受けられる一方、木の伐採や作業を行う場合、許可や届出が必要となります。不便なこともあります。無秩序な開発や伐採から山を守り、森林を適正に維持することで豊かな水資源が確保されるため、それらの恩恵を次世代に引き継ぐことにもつながります。



森 千種 / Mori Chigusa

森林整備課 主任
平成29年度入庁

〔所属歴〕

●平成29年度：東部農林水産局<徳島>
●令和元年度：農林水産基盤整備局森林整備課
●令和4年度：森林整備課

INTERVIEW 04

将来、林業に携わる人材を確保するための、取組にやりがいを感じる

現在は、南部総合県民局農林水産部<美波>次長（那賀担当）として、令和6年度に策定された「徳島県森林・林業施策の推進について」の重点施策を具現化するため、各職員と担当業務について、意見交換しながら精査・点検し、推進しています。業務を進める中で語られる課題の多くは、中山間地域における共通の悩みである「人材確保」です。このため、管内の学校や関係機関と連携して、出前授業等を開催しています。

林業体験の現場において、伐採した木が倒れた時や、重機を操作し木材を動かした際に起こる歓声や感動が心に響き、将来、林業に携わり地域を支えて欲しいと願いつつ、地道な取組にやりがいを感じてます。



木本 正二 / Kimoto Syouji

南部総合県民局農林水産部<美波> 次長（那賀担当）
昭和61年度入庁

〔主な所属歴〕
●昭和61年度：林政課
●平成13年度：農林水産政策課
●平成20年度：西部総合県民局農林水産部<三好>
●平成29年度：林業戦略課新次元プロジェクト推進室
●令和6年度：南部総合県民局農林水産部<美波>

森林を「活かす」、「守る」、「治める」業務に取り組む

南部総合県民局那賀庁舎では、管内面積の78%を占める森林を対象に、「活かす」、「守る」、「治める」等の業務に取り組んでいます。活かすでは、森林資源を育成、伐採、運搬し、製材工場等に安定供給するとともに、伐採跡地においては適正な更新に務め、資源循環を図っています。守るでは、公益的機能を発揮させるため、立木の伐採や土地の形質変更などに制限を科すほか、開発行為に対しては秩序ある開発の指導を行っています。治めるでは、災害発生リスクの高い箇所において、効果的な施設を設置するなど山地防災力の強化に務めています。また、上記の取組を維持・継続させるため、現役世代はもとより、管内の小中高生をターゲットとした人材確保にも注力しています。



▲ 森林・林業体験学習会（驚敷中学校）

南部総合県民局農林水産部<美波>